

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(2月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



『おじいちゃんのコート』

ジム・エイルズワース 文 / バーバラ・マクリントック 絵
/ 福本友美子 訳 / ほるぷ出版 対象年齢: 5. 6歳頃から



内容のご紹介

札幌市の三江さんと所沢市の倉持さんから年賀状をいただきました。お二人とも「絵本の紹介を楽しみにしています。矢祭町を応援しています。」と書かれていました。このメッセージには、大変私も励みになります。

広報を読んでいただく方からの絵本の紹介は初めてです。“おじいちゃんのコート”は三江さんからのご紹介です。自分の人生とコートから始まってネズミさんの巣になるまでの永い時間の中で変わりながら役に立つものになっていくコートの人生です。

人間の人生も人それぞれの時代を生き、社会環境の変化に対応しながら未来を創るものだと思います。もったいない精神は持続可能な社会創りとなって、人々の心を豊かにしていくものと思います。この絵本から伝わります。

本との出会いを大切にしたいです。

おじいちゃんのコートは、すてきなコート。どこへいくにも、なにをするにも着ていたら、少しずつすり切れて、ぼろぼろになっちゃった。そしたらそこから上着を作って、またぼろぼろになったらベストを作って、しまいには……。よく働き、物を大切にしたというアメリカ移民の生活をもとにした、心に残るお話。

参考文献: ほるぷ出版 紹介文

今月の絵本は、三江梢様(北海道札幌市在住)からのご紹介の絵本です。三江様は、もったいない図書館「手づくり絵本コンクール」において、第10回(一般の部最優秀賞)、第12回(特別奨励賞:柳田邦男賞)を受賞しています。広報やまつりをホームページからご覧いただき「絵本の紹介は、楽しみにしております。遠い矢祭の町をいつも感じて応援して、そして、励まされて楽しく拝読しております。ありがとうございます。」と年賀状をいただきました。温かいご支援、ありがとうございます。(矢祭もったいない図書館)